

# 山本精密 株式会社

## 技術や人材にこだわり 次世代の金属加工をリード

納期相談  
オンライン技術  
メイドインジャパン  
試作可  
小ロット  
量産対応



ロボットによる製品取り外し作業

### 主な事業内容

金属製品製造

### 主な取引先(納入先)

川崎重工業(株)、(株)クボタ、  
住友電気工業(株)など

### 主な製品

油圧機器部品、輸送機器部品、  
金融機関向け自動機部品

### 業務内容

顧客の要望に応え試作から  
量産品まで手早く的確に供給

油圧機器や輸送機器、金融機関向け自動機、医療機器などの金属部品を切削・研磨加工する。削る、磨く、穴をあけるといった基本技術の高度化や人材育成にこだわり、顧客の要望に応える日々の積み重ねの中で、試作から量産品までを手早く的確に供給する体制を構築してきた。現在、200社以上と取引し、4万種類を超える製品を加工している。例えば、油圧モーターのコア部品であるピストンの場合、難削材のクロムモリブデン鋼が用いられ、要求される精度は±5μmと極めて高い。月産2万5,000個を生産するが、長期間にわたってクレームゼロを続けており、顧客からの信頼も厚い。

### 強み ロボットや計測評価技術で 工場のスマート化を推進

同社は切削加工分野の分析・評価機器開発などを手がける「(株)山本金属製作所」(大阪市平野区)のグループ会社として平成2年に設立された。平成14年、ホームページの刷新により大企業との直接取引が拡大したことを機に、加工設備への部品供給や、生産設備間

### 社長あいさつ



代表取締役社長  
山本 憲吾さん

精度や品質など、顧客の期待に応えられる企業づくりに社員一丸となって取り組んできました。少子高齢化の進展や、情報通信技術やAI(人工知能)の発達を好機ととらえ、他社が実現できない製品加工や社会の課題解決につながるものづくりに挑戦していきたいと考えています。

### 主な保有設備

- 材料自動供給機能付きCNC(コンピューター数値制御)旋盤 19台  
φ4—75 1—3m
- ハンドワーク式CNC旋盤 16台  
φ6—300 最大700mm
- ガントリーローダー付きCNC旋盤 5台  
φ6—200 最大100mm
- マシニングセンター(MC) 6台  
最小500×400mm—最大1,050×560mm

大阪01

ISO 9001

住 所 / 〒581-0092  
八尾市  
老原9-110

T E L / 072-922-1800  
F A X / 072-922-4455

創 業 / 平成2年4月  
設 立 / 平成2年4月  
資本金 / 5,000万円  
従業員 / 53名

### 人材育成 学びや挑戦を 後押しして人生を豊かに

の製品移動に多関節ロボットを利用するなど、自動化や省力化にも積極的に取り組んだ。山本金属製作所の計測評価技術を活用し、加工作業中の工具や製品の状態を瞬時に把握したり、生産管理システムの導入による情報の共有を進めたりして「工場のスマート化」も推進する。こうした取り組みにより生産性が大幅に上がり、平成30年度から売上高は10億円となっている。

山本金属グループでは、令和2年度末からベトナムで初めての海外工場を稼働させる予定。工場長には「山本精密」の中堅技術者が抜擢されるという。また、ベトナムからの技能実習生や留学生も受け入れ、将来はベトナム工場の中核を担う技術者として育成に努める。山本憲吾社長自ら採用活動で国内の大学に足を運ぶほか、山本金属グループとして、人材育成のためのトレーニング工場を運営し、切削加工技術の社内検定制度も設けている。山本社長は「学び続け、挑戦を繰り返すことで、人生の満足感や達成感が生まれる。従業員一人ひとりが納得した人生を送れるように、会社としても支援したい」と強調する。



3次元測定機による自動検査



画面のデータで生産状況を把握



<http://www.y-precision.co.jp/>